

別紙

開発肥料株式会社竹原工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

開発肥料株式会社 竹原工場

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市福田町東新畑295番地

(3) 業種

その他の化学肥料製造業(1619)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成23年度から平成24年度までの2年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》


《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量 (t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成22年度	平成24年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0.4599 ※ (0.4882)	0.4858 0.5	0.4819 1.3				
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	0.4599 ※ (0.4882)	0.4858 0.5	0.4819 1.3				
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	181.2		178.6 1.4				
実績に対する 自己評価	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は原単位ベースで年0.25%の削減目標に対し、年1.3%の削減率となったことから、目標達成できた。						

削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100      削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

※平成22年度は「平成21年度の製造方式変更に伴い発生した半製品」を原料として再利用したことにより、エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量原単位が新製造方式運転ベースに比べて低い値となった。そのため平成22年度実績を基準年度の前年度とせず、新製造方式運転ベースで平成24年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量原単位を算出し、その算出した値を基準年度の前年度とした。また、削減目標は基準年度の前年度より0.5%削減した値を目標とした。(算出方法は下記のとおり)

#### ●エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出見込量(新製造方式運転ベース)の算出

製品生産見込量	原単位	年間使用見込量	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 換算	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出見込量
34,000t	灯油: 161.8 ㍓/t 電力: 153.5 kWh/t	5,501.20 kl 5,219.00 千kWh	36.7 GJ/kl × 0.0185 (t-CO <sub>2</sub> /GJ) × (44/12) × 0.000555 (t-CO <sub>2</sub> /kWh)	13,695.15 t-CO <sub>2</sub> 2,896.55 t-CO <sub>2</sub>
軽油は製造月1ヶ月当り300㍓と想定すると、 平成24年度: 10ヶ月稼働 × 300㍓ = 3,000㍓(3.0kl) × 37.7 GJ/kl × 0.0187 (t-CO <sub>2</sub> /GJ) × (44/12) =				7.75 t-CO <sub>2</sub>
				合計 16,599 t-CO <sub>2</sub> <small>(小数点以下四捨五入)</small>

#### ●基準年度の前年度算出および削減目標算出

エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出見込量	生産見込量	基準年度前年度原単位	0.5%削減	平成24年度目標		
16,599 (t-CO <sub>2</sub> )	34,000 (t)	0.4882		エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出見込量	生産見込量	削減目標原単位
				16,516 (t-CO <sub>2</sub> )	34,000 (t)	0.4858

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	灯油、軽油、電力の使用量を 原単位で計1.3%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼成熟風炉の最適空気比の設定</li> <li>・最適焼成温度の検討</li> </ul>
2	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要機器の停止検討</li> <li>・休憩時間、照明不要箇所の消灯の徹底</li> </ul>
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピー、裏面利用等</li> <li>・分別収集及び資源化の徹底</li> <li>・製品包装資材の再利用</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。